

阿南工業高等専門学校				一般教科（平成25年度以前入学生）				開講年度				平成29年度（2017年度）															
学科到達目標																											
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分				
						1年				2年				3年				4年						5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			1Q	2Q	3Q	4Q
一般	選択	経済学	0038	学修単位	2																					今田 浩之	
一般	選択	バイオテクノロジー	0039	学修単位	2																					一森 勇人	
一般	選択	体育	0040	履修単位	1																2					新井 修 中島 一	
一般	選択	英語総合 2	0041	学修単位	2																2					林田 栄治	
一般	選択	日本語の表現	0042	学修単位	2																2					坪井 泰士 錦 織 浩文	
一般	選択	英語の語彙・文法（3）	0043	履修単位	1																2					藤井 浩美 勝 藤 和子	
一般	選択	英語の語彙・文法（4）	0044	履修単位	1																	2				赤山 幸太郎	
一般	選択	中国語	0045	履修単位	1																	2				鄭 涛	

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	経済学	
科目基礎情報							
科目番号	0038		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	一般教科 (平成25年度以前入学生)		対象学年	5			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	教養の政治学・経済学(学術図書出版社)						
担当教員	今田 浩之						
到達目標							
1. 経済体制や価格機構について説明できる。 2. 国民経済計算や景気循環について説明できる。 3. 金融政策や財政政策について説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベル (可)		
到達目標1	経済体制の問題点や価格機構の限界について説明できる。		経済体制や価格機構について概要説明ができる。		経済体制や価格機構について基本的な要点が説明できる。		
到達目標2	国民経済計算や景気循環について経済資料に即した説明ができる。		国民経済計算や景気循環について概要説明ができる。		国民経済計算や景気循環について基本的な要点が説明できる。		
到達目標3	金融政策や財政政策について経済資料に即した説明ができる。		金融政策や財政政策について概要説明ができる。		金融政策や財政政策について基本的な要点が説明できる。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この科目では、経済現象に関わる基本的な概念や理論、政府などの経済政策を包括的に学習する。						
授業の進め方・方法	授業では、まず、経済学の基礎概念や理論を学ぶ。その上で、主にマクロ経済学の基本的論点について検討し、その概要と課題について説明できる能力を身に付ける。						
注意点	日常的に、家計・企業の経済問題や政府などの経済政策に主体的に関心を持つようにしてください。 時事的な話題や自分の身の回りの経済現象に目を向け、授業との関連づけをしましょう。 参考書：入門経済学[第4版](日本評論社)						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	「経済理論」「経済体制」		経済現象と経済理論、資本主義・社会主義経済体制について説明できる。		
		2週	「経済理論」「経済体制」		経済現象と経済理論、資本主義・社会主義経済体制について説明できる。		
		3週	家計・企業		消費と貯蓄、生産と分業などについて説明できる。		
		4週	価格機構		市場と価格、均衡、独占と寡占、市場の限界などについて説明できる。		
		5週	価格機構		市場と価格、均衡、独占と寡占、市場の限界などについて説明できる。		
		6週	マーケティング戦略		経済環境分析、標的市場選定について説明できる。		
		7週	マーケティング戦略		経済環境分析、標的市場選定について説明できる。		
		8週	ブランド戦略		ブランドの分類、機能、評価基準、導入戦略について説明できる。		
	4thQ	9週	国民所得		国民経済計算、国富について説明できる。		
		10週	景気循環		景気循環、景気動向指数について説明できる。		
		11週	景気循環		景気循環、景気動向指数について説明できる。		
		12週	金融政策		金融市場、金融政策について説明できる。		
		13週	金融政策		金融市場、金融政策について説明できる。		
		14週	財政政策		財政の機能、予算類型、国債問題、租税体系について説明できる。		
		15週	財政政策		財政の機能、予算類型、国債問題、租税体系について説明できる。		
		16週	期末試験答案返却				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計	
総合評価割合	65	0	35	0	0	100	
基礎的能力	55	0	25	0	0	80	
専門的能力	10	0	10	0	0	20	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	バイオテクノロジー	
科目基礎情報							
科目番号	0039		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	一般教科 (平成25年度以前入学生)		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	スタンダード生化学(裳華房)/図書館の化学関連の本						
担当教員	一森 勇人						
到達目標							
1. 生物機能についての化学的概念を理解できる. 2. 環境問題についての化学的概念を理解できる. 3. バイオに関するものづくりの技術を身につける方法を習得できる.							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	生物機能についての化学的概念を理解し説明できる.		生物機能についての化学的概念を理解できる.		生物機能についての化学的概念を理解できない.		
評価項目2	環境問題についての化学的概念を理解し説明できる.		環境問題についての化学的概念を理解できる.		環境問題についての化学的概念を理解できない.		
評価項目3	ものづくりの技術を身につけ、実際に応用できる.		ものづくりの技術を身につける方法を習得できる.		ものづくりの技術を身につける方法を習得できない.		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	生物機能の化学的解明を行い、その成果を人類の生存や人間生活の向上を目指して行くための学問である。生物学の基礎的知識を身につけ、エンジニアとして必要な地球環境を考える力をつけることを目的とする。						
授業の進め方・方法	講義形式で行うが、必要に応じて小テスト、レポートを実施する。						
注意点	特になし						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		授業について内容を理解する。		
		2週	生命体の構造とメカニズム		生命体について理解する。		
		3週	1、生命体の構成要素		生命体の構成要素について理解する。		
		4週	2、エネルギー代謝 炭水化物1		炭水化物の代謝について理解する。		
		5週	2、エネルギー代謝 炭水化物2		炭水化物の代謝について理解する。		
		6週	2、エネルギー代謝 脂質1		脂質の代謝について理解する。		
		7週	2、エネルギー代謝 脂質2		脂質の代謝について理解する。		
		8週	中間テスト		合格点を取る。		
	4thQ	9週	3、生体内の化学反応 炭水化物1		炭水化物の化学反応について理解する。		
		10週	3、生体内の化学反応 炭水化物2		炭水化物の化学反応について理解する。		
		11週	3、生体内の化学反応 アミノ酸1		アミノ酸の化学反応について理解する。		
		12週	3、生体内の化学反応 アミノ酸2		アミノ酸の化学反応について理解する。		
		13週	3、生体内の化学反応 脂質1		脂質の化学反応について理解する。		
		14週	3、生体内の化学反応 脂質2		脂質の化学反応について理解する。		
		15週	まとめ		これまでの学習を理解する。		
		16週	期末テスト		合格点を取る。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	50	0	100
基礎的能力	30	0	0	0	10	0	40
専門的能力	10	0	0	0	30	0	40
分野横断的能力	10	0	0	0	10	0	20

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	体育	
科目基礎情報							
科目番号	0040			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般教科（平成25年度以前入学生）			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	新井 修,中島 一						
到達目標							
1.互いに協力し合い、主体的に練習やゲームの方法を工夫して運動を実践できる。 2.自己の能力に応じて、運動の技能や体力を身につけることができる。 3.安全に留意して運動や活動ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
到達目標1	自己及び、仲間の取るべき行動を適切に判断し、主体的に練習やゲームを工夫し、活動を円滑に実践できる。		自己の取るべき行動を判断し、他人と互いに協力しながら練習やゲームを工夫し、活動に参加できる。		自己の取るべき行動が判断できない。または他人と協力する姿勢が見られず、活動に参加できない。		
到達目標2	自己の能力を理解し、適切なプログラムを作成して運動の技能や体力を身につけることができる。		教員が指示したプログラムに従い、運動の技能や体力を身につけることができる。		教員の指示に従わず、運動の技能や体力を身につけることができない。		
到達目標3	活動中、自己のみならず仲間も安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取る事ができる。		活動中、自分の安全に留意し、必要に応じて危険を回避する行動を取ることができる。		活動中、安全に留意して活動できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	運動を行うことにより、運動することの楽しさや喜びの実感、運動に必要な技能の習得及び体力の向上を図る。あわせて自ら意欲的に運動に取り組む姿勢や、生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。特に本授業では、生涯スポーツの観点から、自己の能力や興味関心に応じて種目を選択させ、運動を安全かつ楽しみながら実践できるよう、工夫・協力しながら学習することに重点を置く。						
授業の進め方・方法	第1週目に種目を選択・決定し、半期を通じて該当種目を実施する。準備や運営を自主的に行うことで、生涯スポーツの基礎を身につける。						
注意点	普段から健康管理を心がけ、風邪などにより授業を見学・欠席することの無いよう気をつけてください。 学校指定の体操服で活動してください。 天候等、やむを得ない事情により、実施種目は変更されることがあります。 前期の体育大会は授業時数に含まれますので、欠席しないようにして下さい。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	種目選択と実践		(1)各種目のルールを理解し説明できる。		
		2週	種目選択と実践		(2)各種目の基本的な個人技能を習得する。		
		3週	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		4週	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		5週	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		6週	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		7週	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		8週	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
	2ndQ	9週	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		10週	新体力テスト		正確な測定ができる。		
		11週	新体力テスト		正確な測定ができる。		
		12週	種目選択と実践		(3)互いに協力し、ゲームを実践できる。		
		13週	体育大会(前期)		(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		14週	体育大会(前期)		(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		15週	体育大会(前期)		(1)参加する種目で、仲間と協力してゲームを実践できる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	100	100

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語総合 2	
科目基礎情報							
科目番号	0041		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	一般教科（平成25年度以前入学生）		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	World in Focus(CENGAGE Learning)/						
担当教員	林田 栄治						
到達目標							
1.教材(DVD及び英文エッセイ)で用いられている、英語表現を理解するために必要な語彙・語法を習得する。 2.英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解できる。 3.英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	教材で扱われた語彙・語法を適切に文脈の中で理解し、自ら運用できる。		教材で扱われた語彙・語法を適切に文脈の中で理解できる。		教材で扱われた語彙・語法を適切に文脈の中で理解できない。		
評価項目2	2分程度の英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解し、要点をまとめることができる。		2分程度の英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解することができる。		2分程度の英語DVDを視聴し、その概要を正確に理解することができない。		
評価項目3	400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解し、要点をまとめることができる。		400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解することができる。		400語程度の英文エッセイを読んで、その概要を正確に理解することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	科学・芸術・社会問題など様々な題材を取り上げた英語DVDを視聴し、特有の語彙・語法・表現に慣れるとともにその概要を理解する。さらに、その分野に関連する400語程度の英文を読んで、特有の語彙・語法・表現に慣れるとともに、その概要を理解する。						
授業の進め方・方法							
注意点	1.授業には必ず辞書を持参すること。 2.単語テストを実施します。 3.【重要】自学自習用にノートを1冊用意すること。ルーズリーフ及びリングノートは認めません。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		シラバスの内容を理解する。		
		2週	Unit1 A Taste of Mexico ~ Unit7 Tornado Chase		(1)英語DVDの視聴を通して、概要を把握する。		
		3週	Unit1 A Taste of Mexico ~ Unit7 Tornado Chase		(2)英文エッセイを読んで、概要を把握する。		
		4週	Unit1 A Taste of Mexico ~ Unit7 Tornado Chase		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		5週	Unit1 A Taste of Mexico ~ Unit7 Tornado Chase		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		6週	Unit1 A Taste of Mexico ~ Unit7 Tornado Chase		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		7週	Unit1 A Taste of Mexico ~ Unit7 Tornado Chase		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		8週	前期中間テスト				
	2ndQ	9週	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(1)英語DVDの視聴を通して、概要を把握する。		
		10週	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(2)英文エッセイを読んで、概要を把握する。		
		11週	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		12週	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		13週	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		14週	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		15週	Unit8 Treasure in Old San Juan ~ Unit15 Butler School		(3)特徴的な語彙・表現を理解する。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	15	15	100
基礎的能力	70	0	0	0	15	15	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	日本語の表現	
科目基礎情報							
科目番号	0042		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	一般教科 (平成25年度以前入学生)		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	高専日本語アビリティⅠ・Ⅱ (阿南高専)						
担当教員	坪井 泰士,錦織 浩文						
到達目標							
1. 社会マナー・ルール、敬語・表現ルールの基本を理解し、適切に用いて文章を作成できる。(Ⅰ)							
2. 他者を尊重した議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し、深化させる手法を説明できる。(Ⅱ)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベル(優)		標準的な到達レベル(良)		最低限の到達レベルの目安(可)		
評価項目1	社会マナー・ルール、敬語・表現ルールの基本を理解し、適切に用いて文章を即応的に作成できる。		社会マナー・ルール、敬語・表現ルールの基本を理解し、適切に用いて文章を適切に作成できる。		社会マナー・ルール、敬語・表現ルールの基本を理解し、適切に用いて文章を作成できる。		
評価項目2	他者を尊重した議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し、深化させる効果的な手法を適切に説明できる。		他者を尊重した議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し、深化させる効な手法を説明できる。		他者を尊重した議論を集団としてまとめ、新たな発想や視点を獲得し、自分の思いや考えを整理し、深化させる効果的な手法を説明できる。		
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	科学技術に関するものを含む広範囲な日本語を対象に、より高度な理解、柔軟な発想・思考、豊かな口頭表現を含む効果的なコミュニケーションや主体的な表現ができることを目的とする。						
授業の進め方・方法	LMSにより、講義VTR視聴 (テキストを用いた予習・復習を含む) , レポート提出 (教員による添削指導を含む) , チームプロジェクト等を実施する。 実授業は、それらの学習理解をふまえて討論, ファシリテーション, 実技等により, 振り返りを中心とする。						
注意点	LMSの活用環境を整備しておくこと。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	社会へのエントリー① (坪井)		社会の視点に立ち、面接に必要な準備、マナー等を説明し、実践できる。		
		2週	短歌・俳句 (錦織)		短歌・俳句の基本を説明し、作成できる。		
		3週	社会へのエントリー② (坪井)		種別に応じた面接技法 (個別、集団、ディスカッション) を説明し、実践できる。		
		4週	短歌・俳句 (錦織)		短歌・俳句の基本を説明し、作成できる。		
		5週	社会へのエントリー③ (坪井)		社会が求める人材像を想起し、他との差違を意識したコミュニケーションについて説明し、実践できる。		
		6週	短歌・俳句 (錦織)		短歌・俳句の基本を説明し、作成できる。		
		7週	ファシリテーション (坪井)		合意形成のためのファシリテーションについて説明し、実践できる。		
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	人間力① (坪井)		人材評価指標を考察し、説明できる。		
		10週	人間力② (坪井)		リーダーシップとメンバーシップの観点から、組織のあり方を考察し、説明できる。		
		11週	プレゼンテーションと聞く技術 (坪井)		ラポール、Show-See-Speak、ペーシングについて説明し、実践できる。		
		12週	敬語 (錦織)		敬語の基本を説明し、運用できる。		
		13週	電話・記録 (錦織)		電話対応・記録・報告の基本を説明し、運用できる。		
		14週	通信文 (錦織)		通信文の基本形について説明し、作成できる。		
		15週	通信文 (錦織)		通信文の基本形について説明し、作成できる。		
		16週	前期末試験答案返却				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計	
総合評価割合	75	0	25	0	0	100	
基礎的能力	55	0	15	0	0	70	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	20	0	10	0	0	30	

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語の語彙・文法 (3)	
科目基礎情報							
科目番号	0043			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般教科 (平成25年度以前入学生)			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	SUCCESSFUL KEYS TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST (Mark D. Stafford, Kiri-hara Shoten) / 英単語・熟語ダイアログ Basic 1200 三訂版 (秋葉利治他,旺文社) / TOEICテスト新公式問題集 vol.1~5						
担当教員	藤井 浩美,勝藤 和子						
到達目標							
1.教科書・語彙集などの教材で学習した語彙を理解し、運用できるようにする。 2.教科書で取り上げた文法事項や構文を理解し、運用できるようにする。 3.TOEICスコア425以上を達成する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		最低限のレベルの目安(不可)	
到達目標1	教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を適切な文脈において理解し、自ら運用できる。			教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を文脈の中で理解できる。		教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を文脈の中で理解できない。	
到達目標2	教科書で取り上げた文法事項や構文を適切な文脈において理解し、自ら運用できる。			教科書で取り上げた文法事項や構文を適切な文脈の中で理解できる。		教科書で取り上げた文法事項や構文を適切な文脈の中で理解できない。	
到達目標3	TOEICでスコア425以上取得できる。			TOEICでスコア375以上取得できる。		TOEICスコア325程度にとどまっている。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	TOEICスコア450以上の取得を目指し、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的英語能力の向上を図る。						
授業の進め方・方法	TOEIC実戦形式の演習形式の授業を展開する。						
注意点	TOEICスコアを成績評価の一部に含める。(ただし、過去2年以内の受験のものに限る。また、スコア350未満は原則として評価得点は与えない。)						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション Unit 1 Daily life		1. シラバスの内容を理解する。 2.TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 3.TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		2週	Unit 2 Places		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		3週	Unit 3 People		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		4週	Unit 4 Travel		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		5週	Unit 5 Business		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		6週	Unit 6 office		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		7週	Review 小テスト(1)		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	Unit 7 Technology		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		10週	Unit 8 Personnel		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		11週	Unit 9 Management		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		12週	Unit 10 Purchasing		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		13週	Unit 11Finances		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		14週	Unit 12 Media		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		
		15週	Review 小テスト(2)		1. .TOEICの出題傾向や出題形式を把握し、解答時間を考慮しながら、問題を解く。 2. TOEICテストで扱われる英文の基本構造を見抜く。		

		16週	期末試験返却			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
評価割合						
	定期試験	小テスト	ポートフォリオ	発表・取り組み姿勢	その他	合計
総合評価割合	65	15	10	0	10	100
基礎的能力	65	15	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語の語彙・文法（４）	
科目基礎情報							
科目番号	0044		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	一般教科（平成25年度以前入学生）		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	Successful Steps for the TOEIC Test : A Topic-based Approach－Revised Edition－（成美堂） / プリント教材						
担当教員	赤山 幸太郎						
到達目標							
1.教科書・語彙集などの教材で学習した語彙を理解し、運用できるようになる。 2.教科書で取り上げた文法事項や構文を理解し、運用できるようになる。 3.TOEIC450点以上に相当する読解力や聴解力を身に付ける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を文脈の中で適切に理解し、自ら運用できる。		教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を文脈の中で適切に理解できる。		教科書・参考書などの教材で学習した語彙・表現を文脈の中で適切に理解できない。		
評価項目2	教科書で取り上げた文法事項や構文を文脈の中で適切に理解し、自ら運用できる。		教科書で取り上げた文法事項や構文を文脈の中で適切に理解できる。		教科書で取り上げた文法事項や構文を文脈の中で適切に理解できない。		
評価項目3	授業で扱った英文を読解及び聴解において十分に理解し、TOEICスコア450点以上を取得できる。		授業で扱った英文を読解及び聴解において十分に理解し、TOEICスコア400点相当を取得できる。		TOEICスコア400点相当を取得できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	TOEICスコア450点以上の取得を目指し、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。						
授業の進め方・方法	テキストの語彙・文法・語法・読解に関する問題のポイントを解説しながら、演習形式で問題を解いていく。リスニングのメカニズムに留意しながら、Sight Translationの課題に取り組み、リスニング・速読の能力を養成する。						
注意点	1.授業には辞書（電子辞書可）を持参すること 2.授業には必ず予習をして臨むこと 3.速読・リスニングの課題を課す						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション、リスニングのメカニズム（「リズム」・「連結」・「同化」・「脱落」）		シラバスの内容を理解する。リスニングの基礎を学ぶ。		
		2週	Sight Translationの導入、速読・リスニング課題（1）		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		3週	Unit 1、速読・リスニング課題（2）		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		4週	Unit 2、速読・リスニング課題（2）		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		5週	Unit 3、速読・リスニング課題（3）		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		6週	Unit 4、速読・リスニング課題（3）		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		7週	Unit 5		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		8週	中間テスト				
	4thQ	9週	Unit 6		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		10週	Unit 7、速読・リスニング課題（4）		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		11週	Unit 8、速読・リスニング課題（4）		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		12週	Unit 9、速読・リスニング課題（5）		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		13週	Unit 10、速読・リスニング課題（5）		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		14週	Unit 11、速読・リスニング課題（6）		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		15週	Unit 12、速読・リスニング課題（6）		■TOEIC対策問題演習を通して、英語の語彙力、文法力、聴解力、読解力の総合的向上を図る。		
		16週	学年末試験返却				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	0	10	0	0	100
基礎的能力	70	20	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	中国語	
科目基礎情報							
科目番号	0045			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般教科 (平成25年度以前入学生)			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	1年生のコミュニケーション中国語 (白水社)						
担当教員	鄭 涛						
到達目標							
1.中国の文化と生活に関する基礎的な知識を理解する。 2.中国語の発音と基本な文法を理解し、基礎的な日常会話ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	中国語の社会事情、文化、生活に関することについて興味を持ち、理解できる。			中国の社会事情、文化、生活に関することについてある程度理解できる。		中国の社会事情、文化、生活に関することについての理解に欠ける。	
評価項目2	発音記号を見て、中国語を正しく発音できる。			発音記号を見て、中国語を発音できる。		発音記号による発音ができない。	
評価項目3	簡単な日常会話が流暢にできる。			簡単な日常会話ができる。		簡単な日常会話ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	中国の社会事情、生活・文化に関する基礎的な知識を理解するとともに、中国語の発音と表現に関する基礎知識、及び基礎的な会話を学習する。						
授業の進め方・方法	授業は会話に関する学習と練習を基本とする。						
注意点	外国語の勉強がしゃべることが大事なので、授業中、積極的な態度で声を出すこと。						
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	ガイダンスとオリエンテーション		シラバスにより到達目標、評価割合、達成度基準などを理解する。中国の社会事情、文化・生活、中国語の基本に関することを理解する。		
		2週	中国語の基礎：発音 (母音)		発音記号を使って、中国語の発音ができる。		
		3週	中国語の基礎：発音(子音)		発音記号を使って、中国語の発音ができる。		
		4週	自己紹介		「～は～である」を使って会話ができる。		
		5週	これは何ですか		疑問文に関する会話ができる。		
		6週	これはいかがですか		指示代名詞と動詞を使える。		
		7週	買い物		形容詞、量詞の使い方が分かる。		
	8週	中間試験					
	4thQ	9週	どこにありますか		数字、日付、時刻の表現ができる。		
		10週	なにがありますか		完了形を使える。		
		11週	ホテルにチェックイン		存在を表す動詞を使って会話ができる。		
		12週	何時にいきますか		時間量に関する言葉の使い方を習得する。		
		13週	タクシーに乗る		過去の経験に関する文法を習得する。		
		14週	試着と支払い		動作の様態を理解する。		
		15週	苦情をうたえる		動作の進行を表す表現を習得する。		
		16週	試験		試験		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	定期試験	小テスト	レポート・課題	発表	その他	合計	
総合評価割合	80	20	0	0	0	100	
基礎的能力	80	10	0	0	0	90	
専門的能力	0	10	0	0	0	10	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	